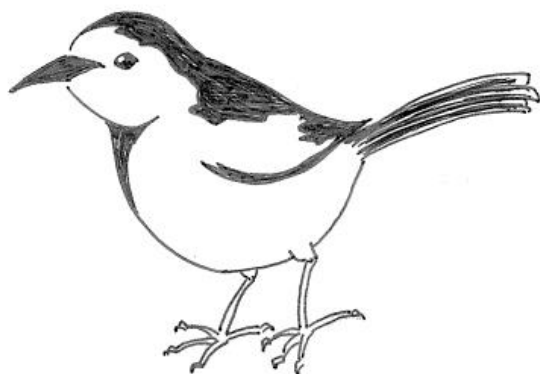


「ツタヤ図書館」の“いま”

－ 公共図書館の基本ってなんだ？ －

3版



図書館友の会全国連絡会

2016年 1月30日 初版発行

2022年 5月 1日 3版発行

1 この「パンフレット」の趣旨

○まずは知ろう

全国に広がる「ツタヤ図書館」とその論争は、図書館としてのあり方を超え、地方自治そのものを問うまでに拡大しています。

この小冊子は、「ツタヤ図書館」の現状を簡単にお伝えすることで、疑問点・問題点を理解する糸口になることを目的としています。

〈基礎知識〉図書館運営の違い

- * 『直営』 行政が直接運営します。
- * 『業務委託』 行政が業務の一部を外部に委託し、受託者が仕様書等の契約書類に従い事業を実施します。
- * 『指定管理者制度』 行政が指定した団体に、公の施設の管理運営を仕様書等により全面的に委ねるものです。総務省・文部科学省とも図書館については対象とすることを肯定していません。
- * このほか『PFI』『市場化テスト』があります。

「ツタヤ図書館」はCCC（カルチャー・コンビニエンス・クラブ株式会社）が指定管理者となって運営する図書館です。

○調べてみよう

これを読んでもっと詳しく知りたくなったら、「図書館友の会全国連絡会」のホームページにこの小冊子の旧版や内容の元となる主なURL、雑誌、新聞名、解説がありますので読んでみてください。古い雑誌や新聞は図書館で閲覧できます。その図書館にない雑誌や新聞は、ほかの図書館から貸出やコピーをお願いすることもできます。図書館の窓口に行って「レファレンスをお願いします」とか「調べたいことがあるんです」と言って「ツタヤ図書館」について調べるための手伝いをお願いすることもできます。

2 「ツタヤ図書館」の発生と批判

○武雄市(佐賀県)

2012年5月、佐賀県武雄市の当時の樋渡市長が市民への事前説明も無く、突然、東京で“新図書館構想”を発表しました。この時「武雄市図書館・歴史資料館」は築12年。「ツタヤ図書館」に改修され、後に国重要文化財に一括指定された歴史資料を常設展示していたエリアを失いました。

○批判を受ける「ツタヤ図書館」

愛知県小牧市では、「ツタヤ図書館」計画への住民投票の結果が反対多数で白紙撤回となり、後に直営で新館が開館しました。「ツタヤ図書館」ではないその直営館には、スターバックスが併設されました。

山口県周南市では、市民が新徳山駅ビルへの「ツタヤ図書館」入居計画の是非を問う住民投票条例を請求する署名活動を実施。必要数を遥かに上回る署名を集めました。議会で否決され入居計画は実行されました。

宮城県多賀城市では、市議会で、公募もせずにCCCの指定管理を決めたのは誤りだとする指摘に、教育長が「駅前再開発などまちづくりと一体で考え、選んだ。議会の議決など手続きも適切」と答弁しました。

2016年3月に「ツタヤ図書館問題全国連絡会」が発足し、岡山県高梁市で「ツタヤ図書館」のあり方を考えるシンポジウムを開催しました。

山口県宇部市では、基本プロデュースをCCCが行う「まちなか図書館」（本の閲覧のみで貸出なし）を併設した市の「にぎわい交流館」に関する施設条例案が市議会で否決。計画は白紙になりました。

OTカードとTポイント

「ツタヤ図書館」の特徴の一つに、図書館利用カードとTカードの一体化があります。Tカードを図書館で配布するということは、自治体が私企業の営利に手を貸していることになります。

また、Tカードは、カード利用の状況を蓄積し、マーケティングに利用するものです。そこから個人情報が流出する恐れもあります。

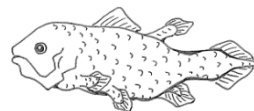


3 「ツタヤ図書館」は、いまどうなっている？

武雄市（佐賀県）	2013年4月開館	既存の建物を改装
海老名市（神奈川県）	2015年10月開館	既存の建物を改装
小牧市（愛知県）	2015年10月白紙撤回	直営で新築新館
多賀城市（宮城県）	2016年3月開館	新築物件に移転
高梁市（岡山県）	2017年2月開館	新築物件に移転
周南市（山口県）	2018年2月開館	新築の新館
延岡市（宮崎県）*	2018年3月開館	新築の新館
和歌山市（和歌山県）	2020年6月開館	新築物件に移転
丸亀市（香川県）*	2021年3月開館	新築の新館
宇部市（山口県）*	2020年9月市議会で否決。ゼロから再検討	
宇城市（熊本県）	2022年4月開館	既存の建物を改修
門真市（大阪府）	2025年開館予定	新築の新館

*延岡市、丸亀市、宇部市は図書館でなく、図書閲覧スペースも持つ公共複合施設。

沖縄県読谷村で2025年にPFI方式で開館を予定している図書館などの複合施設「(仮称)読谷村総合情報センター」の実施主体の優先交渉権者が、CCCなどの企業グループに決定しました。



4 数字と言葉のマジック

○運営費

○図書館費(予算)		移行年度					(単位:千円)
年度/市	武雄市	海老名市	多賀城市	高梁市	周南市	和歌山市	
2011	1億2134万1					3億1783万7	
2012	1億2479万5					2億3445万8	
2013	※1億5311万4	1億6869万9	5728万8	9989万0		2億3252万6	
2014	1億4309万8	1億8939万8	9018万8	4270万8		2億674万7	
2015	1億6513万9	3億9887万6	1億2043万8	12億336万9	1億7704万5	2億3951万0	
2016	2億2703万9	3億2551万5	3億853万7	9億8712万5	1億3965万5	4億9426万9	
2017	※5億7588万8	3億2551万5	3億814万2	1億8461万1	3億9733万1	10億5868万1	
2018	2億3226万4	3億2551万5	3億300万4	1億8198万6	3億793万6	12億836万3	
2019	2億4393万7	3億6247万5	3億373万4	1億8275万3	2億5132万6	20億1716万1	
2020	4億981万0	3億7789万1	3億940万7	1億8537万2	2億5790万0	3億3263万6	
2021	2億5014万8	3億7925万7	3億300万4	1億8043万6	2億5396万0	3億3375万0	

※武雄市2013年度は移行年度=ツタヤ図書館化 ※2017年度はこども図書館開館

参照:各市「図書館要覧」「予算書」

「指定管理者制度導入でコスト削減」との触れ込みだった武雄市では、開館日数と開館時間は増えたものの実際の運営費は増えました。他の図書館も同様で、「ツタヤ図書館」になるとコストが上がるのがわかります。

○コストに見合った効果は上がっていない

○登録者数							移行年度	(単位：人)	
年度	市	武雄市	海老名市	多賀城市	高梁市	周南市	和歌山市		
2013		34,400							
2014		44,200							
2015		50,000	111,704	34,914					
2016		29,500	123,636	61,270	12,063				
2017		26,000	132,935	70,886	16,869	87,775			
2018		25,800	141,773	78,929	14,520	93,432			
2019		23,839	149,432	84,785	17,031	93,858	88,075		
2020		19,839	154,462	46,207	27,902	99,316	94,077		
○来館者数							移行年度	(単位：人)	
年度	市	武雄市	海老名市	多賀城市	高梁市	周南市	和歌山市		
2013		923,036							
2014		800,736							
2015		728,242	336,686	143,529					
2016		688,710	705,824	1,424,670	129,134				
2017		910,167	723,431	1,382,062	622,314	841,167			
2018		1,073,257	730,978	1,421,865	566,833	2,116,247			
2019		982,042	700,232	1,280,327	565,318	2,044,297	64,347		
2020		627,425	479,788	861,531	420,519	1,404,193	663,496		
		*海老名市は中央(ツタヤ)館のみ							

オープン当初は来館者数が増えた武雄市ですが、その後は減り続け、こども図書館オープン時に再度増えた来館者数も、減る傾向にあります。

また、「利用登録」を武雄市は3年ごと多賀城市は5年ごとに更新しており、登録者数は、更新年度を境に減少しています。

そもそも来館者数、登録者数、利用者数とはなんでしょう？

来館者数は、建物の中に入った“のべ人数”で、ひとりが何回も出入りすれば、そのたびに1カウントされます。例えば、武雄市では本館と隣接するこども図書館を行き来すればそのつどカウントされます。また、駅と直結している周南市では、駅改札口から市民活動支援センターへ、またスターバックスや書店に行けば、図書館に入館したとカウントされます。

年度	市	多賀城市	周南市
2015		59,767	
2016		247,252	
2017		220,728	228,798
2018		216,709	318,890
2019		189,059	293,381
2020		153,796	257,099

登録者数は、図書館の利用カードを作った人数で、何回利用してもカウントは1です。

利用者数は図書館で本を借りた人数です。

5 多賀城市立図書館の現状

○市民の利用は減っている

CCCの管理運営へ移行してから5年。この間「多賀城市第5次総合計画」で図書館の利用者を市民の50%とする目標値を設定しましたが、14.5%にとどまるなど、管理運営が適切であったのか疑問が残ります。にもかかわらず、続く5年間もCC Cが指定管理者に選定されました。

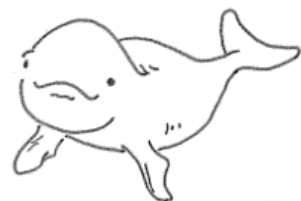
2021年3月「第3次多賀城市立図書館基本計画」が策定されました。ここで第2次計画期間中のサービス



状況の分析結果を見ると、2019年度の実利用人数（図書資料の貸出を受けた人の実数）は、全体で20,980人、そのうち市民は9,002人（実利用率は14.5%）とあり、2016年度の11,960人をピークに減少傾向となっており、貸出冊数も同様に、市民へは295,401冊（全体で648,175冊）とあり、2016年度の438,152冊をピークに減少しています。このように利用の減少を認めながら「ただし、令和2年11月に18歳以上の市民を対象に実施した市民アンケートにおいて、市立図書館の利用率は42.5%となっています。これは上記の実利用率（14.5%）を大きく超えるものですので、図書資料の貸出を受けずに滞在型として市立図書館を利用する市民が多くいることが考えられます」と分析し、賑わいの創出が成功しているように見せています。しかしこのアンケートの調査期間はわずか15日間で、図書館の開館時間内に来館者に対し図書館職員が調査票を配布し回収するという方法です。そうした、わずか500件の有効回答がCCCの管理運営の評価へも使われていることにも疑問が残ります。

○図書館利用者の個人情報を守られていない

多賀城市政問題研究会が多賀城市から情報開示請求して得た2020年度と2021年度の資料により、多賀城市立図書館の利用者の情報を「捜査関係事項照会書」（令状ではない）で、2020年9月28日と10月13日、2021年9月1日の3回、教育委員会が捜査機関に提供していることがわかりました。開示された資料は黒塗りで詳細は全く分かりません。



「図書館の自由に関する宣言」では、「令状主義」 — 憲法第 35 条にもとづく令状を確認した場合以外は利用者の読書事実を外部に漏らさない — を原則としています。このような原則も守られず、安易に利用者の情報を提供するようなようでは、市民は図書館を安心して利用できません。

6 “こども” と図書館

○えほんの山

ツタヤ図書館には、階段状の書架をかねた、登って座れる「えほんの山」や中に入って遊べる機関車や家の遊具などが設置してあります。つまり、落ちて本に親しむという空間づくりがなされていません。また、階段状の書架に誰かが座れば、その背中や足が書架を隠してしまい、本が取りにくい状況を生み出します。それに「えほんの山」にはバリアフリーの観点も欠如しています。こどもが段差から転げ落ちて怪我をする心配もあります。

○こどものため??

「ツタヤ図書館」と言えば見上げるほどの高い書架ですが、大人でも手が届かない高さの書架がこどものエリアにもしつらえてあります。

書店が併設されている館内にはこども向けの“売り物”も置いてあり、こどもには図書館の本なのか売り物の本なのか区別がつきにくく、神奈川県海老名市では、おもちゃも含む“売り物”の前を通らないと児童書コーナーに行けないことから「こどもが本ではなく、おもちゃを欲しがってしまう」との投書により、おもちゃが撤去されました。

7 購入の問題点

○明らかになった中古本購入

武雄市図書館のリニューアルオープンにあわせて約1万冊購入された図書は、CCCの当時傘下であったネット中古大手「ネットオフ」から購入された中古本だったことが、2015年に判明しました。これは不適切な選書だとしてマスコミにも多く取り上げられ、オープン間近の海老名市からも同じような不適切な選書リストが発見されました。

武雄市や海老名市の騒動を受け、多賀城市では市教育委員会が選書リストから一部の本を受け入れ拒否するなど、選書に関わる騒動がありました。その後、中古本の価格が不当に高かったのではないかという疑惑が生じていますが、購入リストが非公開となり真相は闇のままです。

○高いところにある本、読めない本

「ツタヤ図書館」では高い場所に置くために偽物で軽いダミー本を購入するなど、本に囲まれた空間の創出と称して多くの税金が使われています。

手の届かない場所にはダミー本だけではなく貸出・閲覧用の蔵書も置かれています。空間演出のために置かれた本を取るためには、大きな脚立に登らなければならないので、気軽に手に取り読むこともできません。

地震の多い日本で、税金を使って背の高い書架をしつらえ、高い場所に物を置くなど、安全性の観点からも疑問をおぼえます。



8 CCCの「ライフスタイル分類」の問題点

○「ライフスタイル分類」では図書を探せない

「ツタヤ図書館」では、本が探しにくくなっています。それは「ライフスタイル分類」を採用しているからです。この分類は「思いがけない本との出会い」を体験できるとしてはいますが、体系的に調べたい場合には適していません。出版流通システムでは書店は商品が売れた後に責任を持つ必要はありませんが、公共図書館は利用者の生涯にわたる学習を支える社会教育施設です。

国内の多くの公共図書館、学校図書館、大学図書館ではNDC（日本十進分類法）を採用しています。目録も共通の目録規則に従って、整備されています。

各地の「ツタヤ図書館」で目録検索を比較検討してみましたが、検索システムの機能が低く、分類まちがい、検索漏れが多数発見されています。深刻なのは、児童サービスにも独自分類を採用していることです。こどもたちは、国語の教科書でNDCにもとづいた分類を学び、学校図書館と連携しながら、公共図書館でも自ら必要な情報リテラシーを身につけていきます。基本的な分類体系を学ぶ機会をこどもたちから奪っていいのでしょうか。

和歌山市民図書館は、約54万冊の図書はNDC分類、ライフスタイル分類は成人6.7万冊、児童書約14.9万冊です。市民の粘り強い要望で旧図書館のNDC分類が保持されました。



9 「ツタヤ図書館」のその他の問題点

○意見を聞かないCCC

海老名市の図書館は、CCCとTRC（株式会社図書館流通センター）らの共同事業体が運営しています。リニューアルオープン当初、TRCがCCCに“様々な提案や助言をしてきたが聞き入れてもらえず思想の違いから協力関係を解消する”と宣言する事態がありました。図書館の指定管理では最古参で最大手のTRCにここまで言わせるのは異常な事でしょう。

○「ド素人」宣言

その数日前、海老名市立中央図書館に館長として就任したCCCの高橋氏は、リニューアルオープン前の会見で「武雄市図書館の時、僕たちはド素人でした」と言って多くの人を驚かせました。その時「（武雄市図書館で）もっと良いことができたのではないかと反省しています」とも言っています。

○「公共図書館」の指定管理者としてふさわしいのか？

高橋氏は2019年に雑誌で「最初に武雄で始めたときに、僕らは全く未経験で、いろいろ誤解を受けることもたくさんありましたが、図書館を始めて今6年目で、その間にいろいろな学びがあつて」と言っており、武雄市は未経験者を、追隨する他市は経験の浅い業者を指定管理者に選んだことがわかります。高橋氏は「今僕らが次のKPI（重要業績評価指標）で大事にしようと思っているのは、来館者数ではなくて、関係者数。（中略）例えば、年間で200～300のイベントをしたときに、何万人の市民が参加したのか」

「知の循環モデルが図書館を中心にできるかなと思っていて」とも発言。発想はともかく、まずは基本の公共図書館運営をしていただきたいものです。

○「公共施設」の指定管理者としてふさわしいのか

ツタヤ図書館は図書館(公共)部分と物販(営利)部分の境目が曖昧なうえ、いくつかの館はそれを担う司書と販売員の区別も曖昧です。

多賀城市では市民団体が市教育長に、図書館職員と商業施設職員が一見して判別できるようにしてほしいと要望書を出し、名札などで区別するとの返答がありました。今でも判別は難しいです。武雄市は開館当初「司書だから販売には関わらないなんて言い訳はきかない」と館長が発言。館によっては図書館司書業務の求人票に「蔦屋書店業務も対応していただきます」と記載して、税金で雇った人員を私企業の販売員としても働かせています。

和歌山市ではツタヤ図書館に移行する時に司書が半減したと問題になりましたが、これほど司書職を軽んじているのですから当然のなりゆきです。

10 「ツタヤ図書館」を求める行政

○図書館に「にぎわい」を求める行政

ツタヤ図書館の設置目的に「にぎわい創出」があげられます。人を集め人流を起し地域の活性化を期待するものですが、ツタヤ図書館に人が集まっても、地域が活性した、商店街に来る人が増えたという話は聞きません。高橋氏は地方都市の書店がどんどん潰れるので「公共施設に書店をいれて、地域に本の文化を残すことが大事だなと思ってやっています。」と言いますが、武雄市図書館・歴史資料館の目と鼻の先にある「ゆめタウン」にはもともとから

書店が入っていますし、周南市立徳山駅前図書館のオープン時には、それをきっかけに近隣の書店「鳳鳴館」が100年以上の歴史に幕を下ろしています。

ツタヤ図書館には書店などの物販エリアがあり、そこには目的外使用として賃料が発生しますが、それが非常に安いことも問題になっています。例えば、熊本県宇城市での計画はカフェと書店を合わせて60.5㎡、その年間の賃料は約4万4千円という驚きの安さです。市は「宇城市行政財産使用条例」に則ったと言いますが、集客と売上が見込める特等エリアに大手企業が出店するのですから、納得し難いものがあります。

CCCの増田社長はこう言います。「CCCに任せると決めたのは市。こっちは任せられた範疇で運営している。

市民にも文句を言える仕組みがある。議会だとか、住民投票だとか」



11 「公共図書館とは何か？」もう一度考えよう

○「ツタヤ図書館」はあなたのまちに似合うでしょうか？

公共図書館はその自治体の住民自治の基本となる施設です。図書館法第一条に「国民の教育と文化の発展に寄与すること」と規定されるように、住民が読み、調べ、学び、交流できる施設です。

“わがまち”の歴史を知り、その土地それぞれにふさわしい自治体にするには、市民と行政が対話しながら、“わがまち”の図書館を育て、運営していく必要があります。中長期を見据えた熟成の期間が必要です。

地方自治体の財源で委託運営されながら、その利益は地元還元できているのでしょうか？ 全国の国道沿いに、同じロゴ、同じデザインの大型店舗が

できて、地元商店街がシャッター通りになったのを覚えているでしょうか？
この10年間で各地のツタヤ図書館をくらべてみると、そのデザイン、運用は同じパターンで、ツタヤ図書館のホームページも全く同じです。

私たちは東日本大震災や新型コロナ禍を体験して、都会も地方も“わがまち”の問題はその自治体が決断をする、その大切さを実感したのではないのでしょうか。当事者である住民自身が議論をしながら決断をしたいものです。

○ “わがまち” の歴史は大切にされているでしょうか？

武雄市図書館・歴史資料館には幕末から明治時代にかけて最先端の科学技術を取り込んだ質的にも量的にも素晴らしいコレクションがありましたが、ツタヤ図書館にリニューアルされた時、それを展示する、武雄の誇り「蘭学館」がツタヤのDVDレンタルコーナーになり、利益があがらなくなると自習コーナーになったことを忘れることはできません。

あなたのまちの公共図書館には資料を選書できる専任の司書が配属されているでしょうか？ 選書するためには、地域のことをよく知り、資料をよく知っている司書が必要です。司書がいるからこそ十分な住民サービスができるのです。

○ 変革は必要です：地に足をつけながら視点は遠くを見通す

社会の変化に目をむけながら、地域を見つめ直さないと、問題を解決できません。その変革は地域の住民が求めるものと合致しなければなりません。行政と図書館が本気で住民と向き合い、時間をかけて作りあげるものです。どんな図書館がわがまちに必要なか、欲しいのか、声をあげ続けたいのです。

私たちの図書館宣言

図書館は人類の叡智の宝庫です。読み、調べ、学び、交流し、
必要な情報が得られる教育機関として、私たちの自立と
地域社会の発展になくってはならない施設です。

私たちは、ここに図書館のあるべき姿を掲げます。

- 一 知る自由と学ぶ権利を保障する図書館
- 二 いつでも、どこでも、誰でも、身近に無料で利用できる図書館
- 三 資料・情報が豊富に収集・整理・保存・提供されている図書館
- 四 司書職制度が確立され、経験を積んだ館長と職員がいる図書館
- 五 利用者のプライバシーを守る図書館
- 六 情報公開と民意に基づく図書館協議会が機能する図書館
- 七 教育委員会の責任で設置し、直接、管理運営される図書館

私たちは、この実現のために、図書館を支え、守り、すべての人と手
をつなぎ、図書館とともに成長することを宣言します。

《図書館友の会全国連絡会 2009. 5. 25総会決議／2012. 5. 22総会改訂》

図書館友の会全国連絡会 連絡先
事務局

ホームページ : <http://totomoren.net/>

メールアドレス : info@totomoren.net

FAX : 072-741-4582